

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 5 理科室

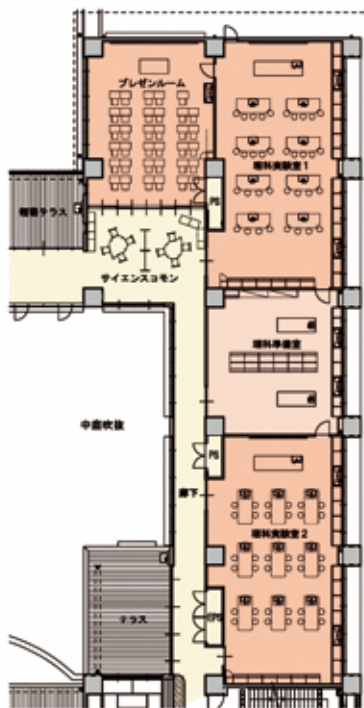
今回は理科室を紹介します。

新校舎には、いろいろな使い方に応じた3種類の理科室を設けています。

理科室は、教員のやり方を見ながら実験できるように、前向きに設置した実験テーブルを備えた理科実験室1、従来の2人1組の実験スタイルの理科実験室2、映像授業や研究発表の場として活用できるプレゼンルームの3種類です。プレゼンルームの前にはサイエンスコモンを配置して、プレゼンルームとの一体利用が可能なスペースや理科へのモチベーションをあげる展示スペースとしています。

これらは屋外テラスと一体的に利用することで授業の可能性を広げ、理科の総合学習の場としてふさわしいつくりとなっています。

次回は、音楽室を紹介します。



3種類の理科室が生徒たちの知識や能力を育みます



▲藤井紗希
株佐藤工業・建築担当

照 会 教育総務課 ☎0537-8733

浜岡原子力発電所安全等対策協議会（以下4市対協）は11月21日、安全性向上対策が進められている浜岡原子力発電所の状況を視察しました。4市対協による発電所視察は東日本大震災以降3年ぶり2回目で、18人が参加しました。

まず最初に、海拔22mの防波壁、高台に設けられた緊急時用の貯水槽やガスタワービン発電機、耐震の緊急時対策所などの設置状況を視察しました。続いて、万が一の事故に備えて訓練を実施していることや、発電所が停止してからの8年以上が経過している中で、所員の技術力を維持・向上させる取り組みをしていることについて説明を受けました。今回の視察で参加者は、浜岡原子力発電所の安全対策について多重・多様な対策が講じられ、原子力災害のリスクを限りなく低減させる取



▲耐震緊急時対策所の説明を受ける



▲海拔22m防波壁の説明を受ける

組みについて理解を深めることができました。

視察終了後、柳澤会長（御前崎市長）は「安全対策がハード面・ソフト面ともに進んでいる」と話しました。

Atomic

暮らしと原子力

4市対協が浜岡原子力発電所の安全性向上対策工事を視察